

平成29年度 東京地区会文化交流会開催 ～サントリー天然水のビール工場 東京・武蔵野ブルワリー見学～



平成30年5月19日（土）、東京都府中市の「サントリー天然水のビール工場 東京・武蔵野ブルワリー」にて、東京地区会文化交流会が開催されました。当日は朝方雨が降っていましたが、昼頃には止み、過ごしやすい気温の中、交流会を行うことができました。

東京地区会は、国立がん研究センター中央病院をはじめ、NHO災害医療センター、国立精神・神経医療研究センター病院、NHO東京病院、国立療養所多摩全生園の診療機能の異なる5施設で構成され、5月現在会員数は128名となっています。



なにかと口にするものの多い、「ビール」ですが各社のこだわりがあるそうです。今回地区会では、その「職人のこだわり」から生まれるものを感じ取ればとの思いから「ビール工場見学」を計画しました。

この日集まった会員は61名で全体の約半数の会員が参加しました。参加者の中には4月の人事異動で新たに東京地区会の会員になられた方も18名参加しており、新会員との交流を深める良い機会にもなりました。



ビール工場見学は、見学人数やスタート時間に制限があったため、スタート時間に集合時間を合わせ2グループに分かれ、時間差をつけてのスタートとなりました。

見学の内容について簡単にご紹介させていただきます。はじめに映像にて、ビールの素材や製法についての説明がありました。工場を建てるところから、天然水で建てる場所を決めるなど、消費者に美味しいビールを届けようというこだわりを感じました。



次にビールの原材料について説明があり、実際に使用しているダイヤモンド麦芽やホップを見るだけでなく、試食させていただきました。ダイヤモンド麦芽は、香ばしい香りと深い甘みを感じられ、これをつまみにしてビールを飲みたくなるような味でした。



その後、ビール製造工程の設備見学が行われ、会員の方々も仕込み窯や廃熱管などを興味深げに観察していました。この日は工場が休止している日でしたので、実際の製造ラインが動いているところは見られませんが、本来、室温は40℃にもなるそうです。当日は32℃くらいでしたが、かなりの熱気、暑さを感じました。



見学の最後には、待ちに待った試飲が始まり、グラスは形状の異なったビアグラスで、係りの方からなみなみついていただき、3種類をそれぞれ飲めるとのことで皆さんおいしそうに飲まれていました。中にはほろ酔い気分になっている人もいました。写真撮影用のパネルなどもあり、楽しく親睦を深めることができました。



ビール工場見学後は、府中駅近くの居酒屋に移動し懇親会を行いました。久高会長の挨拶、乾杯の発声で懇親会が始まり、各テーブル和気あいあいとお酒を飲み交わし、宴もたけなわになったところで、各新人の挨拶を行いました。緊張している様子でしたが、しっかりと挨拶をされているのが印象的でした。しばしの歓談後、締めめの挨拶をがんセンター中央病院の内川副技師長が行い、お開きとなりました。終始なごやかな雰囲気ですべてを親睦を深め楽しい時間を過ごすことができました。

東京地区会会員の皆様、多くの方の参加、ご協力ありがとうございました

文責 角野 友哉

